

# 一関市病院事業経営強化プランのイメージ

## 2022年の実績

【藤沢病院】 経常利益 52.8百万円

入院  
回復期44床  
(1日平均30.4人)

外来  
内・外・整・精・放  
(1日平均95.1人)

在宅  
(80~90世帯)

【老健ふじさわ】 経常利益 △29百万円

入所 超強化型  
定員60人  
(1日平均50.8人)

通所リハビリテーション  
定員25人  
(1日平均14.0人)

【特養光栄荘】 経常利益 0.9百万円

長期入所  
定員87人  
(1日平均84.1人)

短期入所  
定員15人  
(1日平均6.0人)

【グループホームやまばと】  
経常利益△5.4百万円

定員1ユニット9人  
(1日平均9.0人)

【デイサービスセンター】  
経常利益 6.6百万円

定員30人  
(1日平均19.6人)

【訪問看護ステーション】 経常利益△1.8百万円  
年延べ利用 1,208件(レセプト件数)

【居宅介護支援事業所】 経常利益 8.4百万円  
年延べ計画 2,777件

【地域包括支援センター】 経常利益 0.5百万円  
年延べ相談 600件

## 経営強化プランの骨格

【藤沢病院】 当面同規模の病床で病院機能維持

入院  
回復期44床  
(8割稼働)

外来  
内・外・整・精・放  
(診療の効率化)

在宅機能  
の強化

通所リハ事業  
(老健から役割を移管)

※10年後の地域人口が病院として存続困難レベルになることから3年毎に機能を見直す。

介護事業の入所・通所の役割分担を見直し再編

【老健ふじさわ】

入所 加算型  
定員60人

通所リハビリ  
事業休止

在宅復帰機能として老健を維持するものの長期的には特養化を検討

【特養光栄荘】 受入体制強化

長期入所  
定員87人

短期入所  
定員15人

通所機能を再編、グループホームを特養に吸収して人材資源の集中

【グループホームやまばと】  
事業休止  
(光栄荘に吸収)

【デイサービスセンター】

定員40人  
老健通所リハ  
利用者を吸収

【訪問看護ステーション】  
機能強化として看護小規模多機能事業所化を検討

【居宅介護支援事業所】 連携を深め、予防から介護までの

【地域包括支援センター】 総合的な対応力を向上

運営形態  
の検討

公立病院

+

社会福祉法人化

地域医療連携推進法人化により連携体制を維持&他法人との連携推進